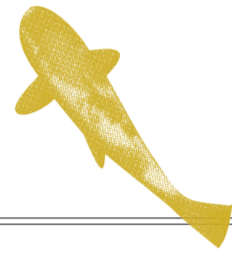


sento & neighborhood journal

KINSEIYU

せんとまち新聞



北区の記憶あつめ編 Vol.16 金星湯

ABOUT

この事業は「北区政策提案協働事業」として、一般社団法人せんとまちが北区と協働し、令和5年度から3カ年計画で、北区の現役銭湯全22軒(令和7年現在)をめぐる。銭湯と周辺のまちの歴史や物語を聞き取り、広く共有して、多世代間の交流を促し、地域のコミュニティ再生へつなげることを目指しています。

CONTENTS 金星湯紹介/記憶地図/住民かく語りき



星野さんの父が営業を始めた当初は昔ながらの宮造り建築だったそうで、「往時には女中さんが3人もいたし、番頭兼三助や小僧もいた。私も高校を卒業してからずっと手伝っていたし、長男だからいずれば継ぐことになるだろうと思っただけ」と星野さん。ただ、父親とは私生活や銭湯の方針のことで、喧嘩が絶えなかったという。「好きな女ができたので、『看護師さんや美容師さん』は忙しくて銭湯を手伝えないからダメだ」と言われたりして。それでも昔は景気が良かったので、よく働き、よく遊ぶことができていた」と星野さん。趣味



宮造り銭湯だった頃の金星湯。

父から受け継いだ銭湯を地域の『憩いの場』に
東京メトロ南北線の王子神谷駅から徒歩5分のところにある「金星湯」。1954年に現店主、星野宏さんの父が開業したという。「新潟出身の父は銭湯を営んでいた叔父を頼りに上京し、御徒町の銭湯などを任せられた後に、この地にあつた銭湯を買って取って独立した」と星野さんは話す。ちなみに「金星湯」という屋号の由来は、叔父の銭湯を含め、墨田区本所で5軒の銭湯を営んでいた恩人の金子金平氏の「金」と星野家の「星」から取ったものだという。

店主の遊び心から生まれた地域の『憩いの場』と大人気のモーニングセット



店主の心意気が詰まったモーニングセットで乾杯。

も多彩で、代々木で社交ダンスを習っていた時期もあったという。「女性の先生と一緒に大会に出るようになったんだけど、その人が婚約することになって大会出場の話もなくなり、用意しておいたタキシードを燃やしたこともあった。社交ダンスはもうそれっきりやらないよ」と笑う。星野さんがいくつもの銭湯での修業を経て、金星湯を継いだのは1980年のこと。「中普請の前に父が亡くなり、金星湯を継ぐ決意をした。と同時に、この銭湯を自分なりに地域の人の『憩いの場』にしたいと思うようになった」と振り返る。そして、30年ほど前に大規模な建て替えを行い、広いロビーを設けることに。すぐさまインスタントラーメンの提供を始め、1991年からは生ビールを提供。さらに保健所と何度も協議や調整を重ね、カウンターやシンク、冷蔵庫などを設置し、軽食の提供を始めたという。そして、毎週日曜日限定で朝8時〜12時までモーニングセットの提供を始めたところ、「銭湯でモーニング」という物珍しさも相まってメディアなどでも次々と取り上げられ、「常連さんはもちろん、一見さんも方々から来てくれるようになった」という。それもそのはず、金星湯のモー

ニングセットは今も550円とリーズナブル、内容もトーストにコーヒー、ジュース、サラダ、卵やデザートと盛りだくさん。風呂上がりにモーニングセットと生ビールを楽しむお客も多数いるそう。もちろん、井戸水を使った熱めで清潔な風呂やサウナも人気だ。
金星湯の目の前には知る人ぞ知る名所を残したい
金星湯にはモーニングセットにかぎらず、星野さんの遊び心が至るところに散りばめられている。ロビーに飾られている写真もそう。聞けば、一時は「もらってきた廃材で銭湯の裏に暗室をつくり、井戸水で現像したりして、1カ月に1回くらいの頻度で自身の作品を飾ったり、欲しい人たちにあげたりしていた」というから驚きだ。



北区王子四丁目公園での花見。提供:星野宏

ちなみに、今もフロントに飾られている桜が満開の王子四丁目公園の写真からはこの地域の歴史がうかがえる。「この公園はうちの目の前にあり、『日産化学工業』(現・日産化学)や『十条製紙』(現・日本製紙物流)などが使っていた貨物線跡の跡地を利用してつくられたもの。今もその名残があり、廃線路などが残っている」と星野さん。現在、北王子線の面影を残して遊歩道化する計画が進められているそうだが、「この公園の桜はとも美しく、近隣住民も毎年、桜の開花を楽しみにしている。何とかこの桜だけは残してほしい」と目を細める。金星湯とともに永く残ってほしい王子の知る人ぞ知る名所である。



せんとまち情報 SENTO DATA

金星湯



金星湯 東京都北区王子4-1-3 東京メトロ南北線「王子神谷駅」から徒歩5分
15:00-24:00、日曜8:00-12:00/15:00-24:00 定休日:金曜

フロント 水風呂 Wi-Fi(無料) ランドリー 日曜のみモーニングセット(8:00-12:00)

※「記憶地図」は、一部ご近所の皆さまの記憶や思い出を元に作成しています。事実と異なる表記があるかもしれませんが、ご了承ください。

記憶地図

現在も営業中 ● **閉店**

● 王子製紙十条工場
→ 十条製紙
→ 日本製紙物流

● 北区王子四丁目公園
金星湯の目の前にある北区王子四丁目公園は、もともと王子駅付近から日産化学工業(現在の豊島五丁目団地)まで走る須賀線と、十条製紙まで走る北王子線という貨物線の分岐点だった。

● 麵処ほん田 東十条店 ● 藤ランド(銭湯)

Sincerite (ケーキ屋)

東十条駅

● ミカワヤビル
かつては「スーパー三河屋」として食品から日用雑貨など生活に必要な品々を幅広く取り揃えていた。写真は1964年のスーパー三河屋。現在は食好きが集う賃貸住宅「ミカワヤビル」として2024年にリノベーションし、今も街角にあかりを灯し続けている。

● 魚屋 ● 豆腐屋 ● 八百屋

● 駄菓子屋 ● 美容室 ● 美容室 ● 運送屋 ● パン屋 ● 米店 ● 工務店 ● 製作所 ● 製作所 ● 製作所 ● タバコ屋 ● 製作所

● 燃料店 ● 大槻商店 ● 駄菓子屋 ● 自動車工業所

● 平井保昌の杉と和泉式部の梅

● 金星湯
日曜日の朝湯と店主のサービス精神に満ちたモーニングセットが人気で、喫茶スペースでの談笑を楽しみに訪れる常連も多い。右の写真は宮造り建築だったかつての金星湯を現在のビルに建て替えている最中のもの。銭湯の煙突を解体している。

● 五感庵
2024年、ミカワヤビルの1階にオープン。手作り惣菜、お弁当、週替わりランチとスイーツなどが楽しめる。店主は幼い頃この辺りに住んでいたそうで、ちょっと夜更かししたい日の特別な楽しみとして母と二人で金星湯に行くことが多かったそう。

住民かく語りき

金星湯周辺

わたしのせんととうとまち

北区の記憶あつめVol.16 金星湯

6月15日、記憶集めトークイベントが実施された。これは金星湯周辺のかつての写真や地図を見ながら地域の記憶を掘り起こしていこうというものだ。常連をはじめとした参加者に思い思いに語り合ってもらった。

開催日時がモーニングセットが提供される日曜日の午前中とあって、参加者はトーストやコーヒー、はたまた生ビールに舌鼓を打ちながらイベントに参加してくれた。そして、皆一様に「モーニングセットはリーズナブルでおいしい」と大盛り上がり。実際、この日を持ち望んでいるお客も多く、「オープンと同時に来、風呂をサツとすませて、モーニングセットを食べながらおしゃべりしている人たちがたくさんいる」と店主の星野さん。もちろん、モーニングの時間帯に限らず、足しげく通う常連も多く、「ここで飲む生ビールがごはんの代わりになっている」「十条の篠原演芸場で観劇してからこっちに来る」「足立区在住だけど、ここの風呂が好きだからしょっちゅう足を延ばしている」「常連たちが仲良しで、いつも競馬や宝くじと一緒に買って、当たったら分け合ったりしている三羽ガラスもいる」といった声も。いずれにしても、星野さんが目指している「憩いの場」はしっかりと地域に定着しているようだ。

そして、もう一つ話題に上がったのが人情味あふれる雰囲気だ。「裸の付き合いだからか、何でも話せる。500円以上の価値がある」「持病があって人がいないと不安。ここで倒れてしまった時は、皆がすぐに助けてくれた」「忙しなくさそうな時に店主とゆっくり話すのも楽しい」といった声が次々に上がった。周囲の飲食店や商店は以前に比べて減少してしまったというが、今も界限の人情は健在。その重要な役割を担っているのが金星湯であることは間違いないさそう。次回も参加者とともに、多くの記憶を集めていきたい。



金星湯に遊びに来てね!

COMMENT

多彩な経験と常連との絆を糧に 銭湯の未来を紡ぐ
— 星野宏さん(金星湯2代店主) —

父が銭湯を営んでいた頃は昔ながらの宮造り建築で、今のようにフロントが広くない代わりに脱衣場がやたらと広かったんです。だから、うちの子どもたちは小さい時にそこで剣道の練習をしたりしていましたね。そのおかげで、一人は警察官になりましたよ。

昔は景気が良く、社交ダンスにカメラ、それから車にと、いろんな趣味に興じることができました。ハリウッド映画にあこがれて、スポーツカーでドライブに出かけたりしたものです。いずれも女性にもたくて始めた趣味でしたが、いまひとつ成果はあがりませんでしたね(笑)。でも、そういった経験の一つひとつが遊び心を育ててくれました。それが銭湯づくりに生かされているようにも思います。

銭湯を継いでからは、一心不乱に「憩いの場」づくりに力を注ぎ続けてきました。おかげさまで、多くの皆さんに喜んでいただけようになっただけですが、実は私にとってはお客さんが来てくれることが何よりの癒しであり、励みなんです。私の誕生日には常連さんを選んで、フロントでちょっとしたパーティーを自ら開くんですが、いつもたくさんの人たちが集まってくれて本当にありがたいかぎりです。昔は近くに居酒屋やそば屋、ちゃんこ鍋屋などがあり、風呂上がりの一杯に事欠かなかったんですが、平成に入った頃にはそのほとんどがなくなっていました。これからは金星湯がその代わりに務められるよう、頑張って営業し続けたいと思います。



Photo / Mari Okamoto



発行：一般社団法人 せんととうとまち
制作統括：一般社団法人 せんととうとまち 栗生はるか 事務局：渡邊勢士 編集・執筆：熊本鷹一 グラフィック：株式会社 PIN DESIGN 菅原悠介/岡本茉莉 映像：Keystone film 鶴若仰太 協力：東京都北区浴場組合
北区政策提案協働事業「銭湯を核とした多世代間の地域コミュニティ再生と記憶アーカイブによる歴史的・文化的まちづくり」(担当：北区政策経営部シティプランニング戦略課)にて制作。
一般社団法人せんととうとまちは、銭湯とその周辺のまちを共に考え、関係性を編み直しながら、銭湯をめぐる生活文化を再生・活性化していくことを目指しています。

活動支援の協賛・寄付を募集しています
<https://bio.site/sentotomachi>

